

祝 辞

徳島県知事

飯 泉 嘉 門



このたび、公益社団法人徳島県宅地建物取引業協会の令和4年度第10回定時総会が盛大に開催されましたことを、心からお慶び申し上げます。

徳島県宅地建物取引業協会の皆様におかれては、日頃から、研修会の開催や無料相談の実施などを通じ、適正な不動産取引や良質な住宅・宅地の供給にご尽力いただくとともに、本県の住宅・建築行政はもとより、県政各般にわたり格別のご理解、ご協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、コロナ禍を契機に、大都市部の感染症に対する脆弱性が顕在化し、大都市部の若者を対象としたインターネットアンケート調査では、65.8%の皆様が地方への転職を希望するとともに、令和3年の人口移動報告では、昨年、東京23区が、現行の集計開始後初めて転出超過となるなど、「東京一極集中」に変化が現れてきております。

また、国においては、昨年9月、デジタル庁を創設するとともに、「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に取り組んでおります。

こうした中、不動産業界の皆様におかれては、VR（仮想現実）による内覧や、ビッグデータを活用したより細やかな不動産情報の提供など、市場の透明性向上や業務効率化、他業種との連携による新たなビジネスの創出に取り組み、デジタル技術を活用したより良い住環境づくりに貢献されていることに、深く敬意を表する次第であります。

本県では、「地デジ化」のピンチをチャンスに変えて構築した全国屈指の「光ブロードバンド環

境」を活用し、本県発祥の「サテライトオフィス」や、徳島ならではの「アワーケーション」を積極的に誘致しており、こうした「新しい働き方」の機運が高まる中、地域に眠る空き家が、民泊や観光施設、移住者の住まいとして、引き続き利活用されるよう、「空き家対策」を推進するとともに、企業誘致や、新たなビジネスの進展、「都市から地方への人の流れ」の加速に向けて取り組んでおります。

また、2025年には、コロナ禍で大きな打撃を受けた社会経済の「飛躍的回復に向けた起爆剤」となる「大阪・関西万博」が開催され、関西、そして徳島に、大きな注目が集まります。この千載一遇のチャンスを活かし、本県の魅力を国内外に発信するとともに、徳島への「新たな人の流れ」を呼び込むため、「挙県一致」で取り組んで参ります。

徳島県宅地建物取引業協会の皆様におかれては、今後とも、宅地建物取引業の適正な運営の確保を通じ、県民の皆様の「快適な住環境」の創造にご尽力賜りますとともに、県の施策に一層の力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、貴協会の更なるご発展と、会員の皆様の今後益々のご健勝、ご活躍を心から祈念を申し上げます、お祝いの言葉といたします。

